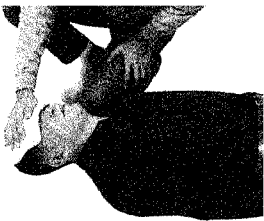
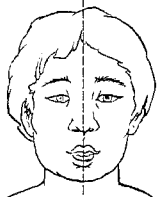


あなたのためです 応急手当を!! 頭を打った

頭部はかなり丈夫な頭蓋骨でおおわれているので、ちょっとしたショックならば、コブを作る程度ですみます。しかし丈夫な骨でガードされているぶん、その内部はデリケートでもろく出来ているといえます。ですから、頭のけがは外傷のあるなしにかかわらず、内部損傷を心配しなければなりません。脳や脊髄の障害原因になるので、応急手当をするにしても扱いは慎重にする必要があります。よほどの軽症でないかぎり医師に見せます。

症状をみる

頭を打つと、こぶ、頭皮が切れて出血、頭蓋骨骨折、頭蓋内出血、脳挫傷（脳細胞の損傷）などが起こります。打ってすぐには意識がしっかりしていても、時間がたつと意識障害が表面化することもあり、軽いと思っても、負傷後のようすを見るべきでしょう。特に交通事故では、ものすごい力が加えられるので、細心の注意が必要です。

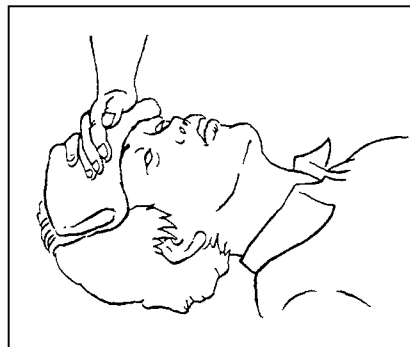
① 出血している コブができた	② 錯乱している もうろうとしている	③ 意識を失い 呼吸困難	④ 鼻・耳・口から出血 か透明な液を流す
			
⑤ 顔色が蒼白か赤すぎたりする	⑥ けいれんを起こす 言語障害がでる	⑦ 左右の瞳孔の大きさが 違っている	⑧ 頭痛と嘔吐がある
			

出血とこぶの手当

こぶができていたり、充血している場合、冷たいタオルか氷のうで冷やします。



頭部は血管が多いので、傷口が小さくとも出血量が多いこともあります。あわてずに落ちついて止血してください。



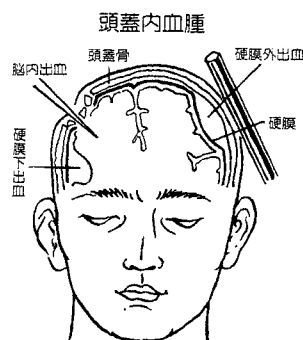
傷口をガーゼや清潔なハンカチで直接圧迫して止血します。

傷口に圧迫止血以外に手をふれたりしてはいけません。

安静に横たえる

錯乱していたら落ちつかせ、もうろうとしている場合と同様、横にならせ安静にさせます。

安静にさせるには、クッションなどの上に、頭を少し高くして、息が楽にできるよう、静かに寝かせておきます。



②③④⑤⑥⑦⑧は、頭蓋内部の損傷は大きいと考えます。救急隊の到着まで、気道確保につとめ、患者を見守らなければなりません。

気道の確保

意識がなく、呼吸困難、脈拍も異常ならば心肺蘇生法⑤を行います。頸部骨折の恐れがある場合は十分に注意しなければなりません。

負傷者が不快がらない程度に保温します。

